

採寸方法

以下より採寸方法をご選択ください。

天井付け

窓枠内側に取り付ける方法

窓枠の内側にブラインドが収まるため、部屋がすっきり見えます。窓際の家具と干渉する心配もありません。



正面付け

窓枠外側や壁面の正面に取り付ける方法

窓全体をしっかり覆えるため、光漏れを防ぎ、遮光性が高まります。窓を大きく見せたい場合にもおすすめです。



賃貸OK

カーテンレール取り付け

ご自宅のカーテンレールに取り付ける方法

穴あけ不要で取り付けられます。窓まわりがきれいにまとまり、全体に自然な一体感が生まれます。



採寸方法 > 天井付け

◎採寸には必ず金属メジャーを使用してください。

01 奥行きを測る

取り付けに必要な奥行きは**6.5cm**です。
商品本体をすべて窓枠内に収める場合は、**8cm**の奥行きが必要です。

※窓枠内に取っ手などの障害物がある場合は、障害物の手前から奥行きを測ってください。



採寸方法 > 天井付け

02 幅と高さを測る

幅と高さは、どちらも窓枠の内側（内寸）を端から端までミリ単位で測ります。



注文時の POINT

- 天井付けは測った寸法そのままご注文ください。

※商品は窓枠に入るよう、製造部門で適切なサイズを差し引いて製造いたします。ヘッドレール等の商品本体はご注文幅から左右0.5cmずつ（合計1cm）短くなります。

※商品の特性上、生地幅はご注文幅から3.3cm短くなります。

採寸方法 > 天井付け



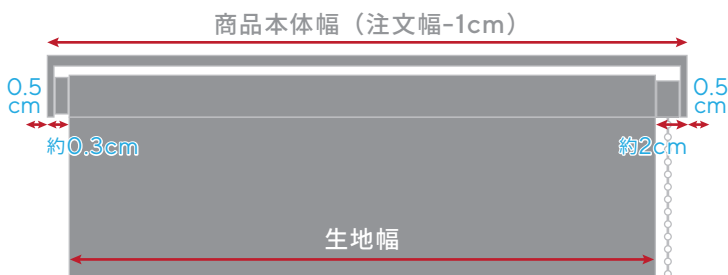
注意事項

- 木の窓枠または木の下地が入っている天井面に取り付けが可能です。ご注文前に下地の有無をご確認ください。
- 窓枠や下地に2cm以上ビスを入れて固定する必要があります。同梱のビスの長さは2.5cmです。



●2分割する場合

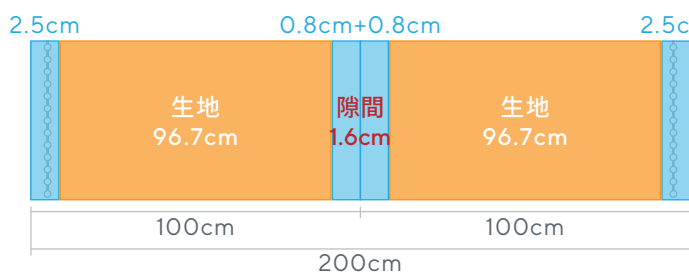
- 最大幅を超える場合は、2台に分割しての設置をおすすめします。
- 2台に分割する場合、測った窓枠内寸（全幅）を2で割り、1台につき0.2cm足した寸法で注文することをおすすめします。この0.2cmは2台のブラインドの間隙を調整するための数値です。高さは2台とも測った寸法そのままご注文ください。



▼そのまま分割すると

窓枠内寸200cmを2分割して1台100cmで注文した場合

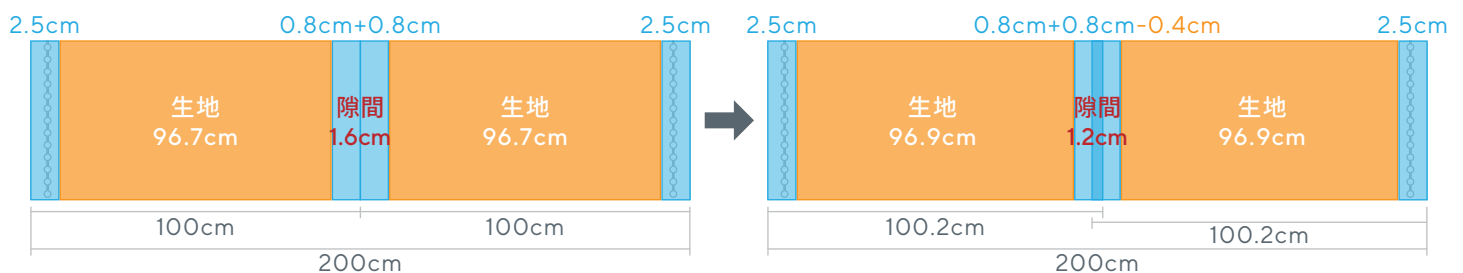
天井付けは1台につき商品本体を左右0.5cmずつ小さく製造します。生地幅はさらに小さくなるため、生地間に1.6cmの隙間が空きます。



▼推奨

窓枠内寸200cmを2分割し、各ブラインドに0.2cmを追加して100.2cmで注文した場合

ブラインドの幅が2台あわせて0.4cm大きくなり、生地間の隙間を1.2cmで取り付けられます。



採寸方法 > 正面付け

◎採寸には必ず金属メジャーを使用してください。

01 窓枠を測る

●窓枠に取り付ける場合

窓枠の厚みを確認します。

- **2.4cm**以下：設置できません（別の方法でお取り付けください）。
- **2.5cm-3.8cm**：設置は可能ですが、金具が窓枠からはみ出します。
- **3.9cm**以上：問題なく設置できます。



採寸方法 > 正面付け

● 壁面に取り付ける場合

窓枠とブラインドが干渉しないように、窓枠の出っ張り（突き出し量）を確認します。

- 窓枠がない場合：この確認は不要です。
- 窓枠の突き出しが1.3cm以下の場合：問題ありません。
- 窓枠の突き出しが1.4cm以上ある場合：逆巻きでご注文ください。



標準巻き



逆巻き



採寸方法 > 正面付け

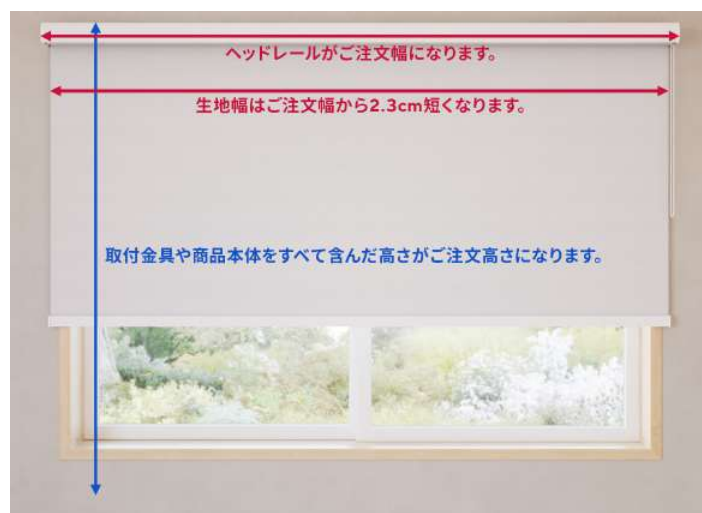
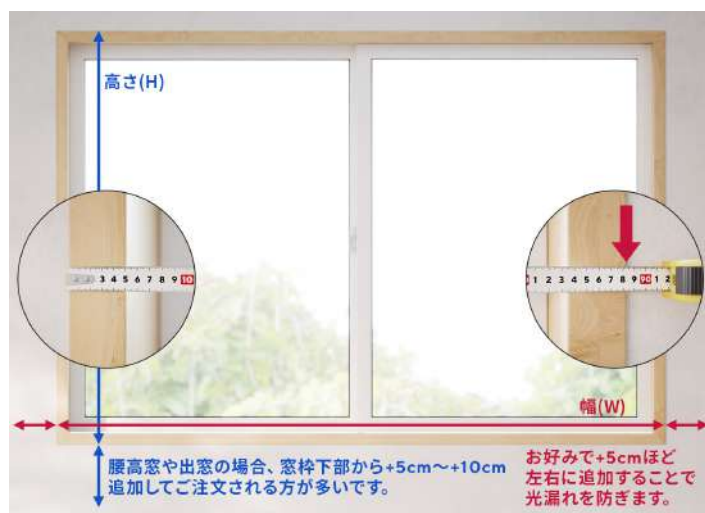
02 幅と高さを測る

●窓枠に取り付ける場合

幅と高さは、どちらも窓枠の外側（外寸）を端から端までミリ単位で測ります。

- ・幅：測った幅の外寸に、お好みで+5cmほど左右のはみ出し分を追加することで、光漏れを防ぎます。
- ・高さ：お好みで下に長くご注文いただいても問題ありません。腰高窓や出窓の場合、窓枠下部から+5cm～+10cm追加してご注文される方が多いです。

建具、障害物などを考慮し、幅・高さともにお好みのサイズでご注文ください。



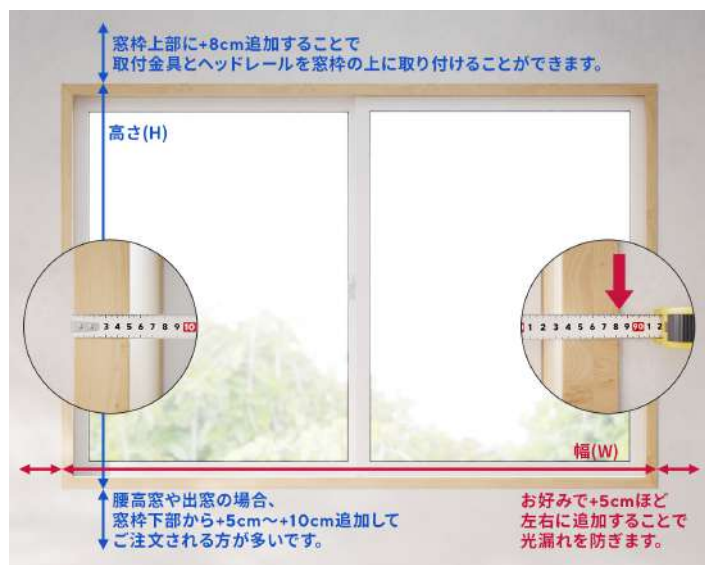
採寸方法 > 正面付け

●壁面に取り付ける場合

幅と高さは、どちらも窓枠の外側（外寸）を端から端までミリ単位で測ります。

- 幅：測った幅の外寸に、お好みで+5cmほど左右のはみ出し分を追加することで、光漏れを防ぎます。
- 高さ：取付金具とヘッドレールを足した縦幅が約8cmのため、測った高さの外寸に+8cmのはみ出し分を追加することで、取付金具とヘッドレールを窓枠の上に取り付けることができます。また、腰高窓や出窓の場合、窓枠下部から+5cm～+10cmのはみ出し分を追加することをおすすめします。

建具、障害物などを考慮し、幅・高さともにお好みのサイズでご注文ください。



注文時の POINT

- 正面付けはお客様のご注文サイズで製造します。

※商品の特性上、生地幅はご注文幅から-2.3cm短くなります。

採寸方法 > 正面付け



注意事項

- 木の窓枠または木の下地が入っている壁面に取り付けが可能です。ご注文前に下地の有無をご確認ください。
- 窓枠や下地に 2cm 以上ビスを入れて固定する必要があります。同梱のビスの長さは 2.5cm です。
- 窓枠の外側に 2 分割で取り付ける場合は、商品のサイズや窓枠の厚みによって取り付けの可否をしますので、カスタマーサポートまでご連絡ください。



採寸方法 > カーテンレール取り付け

◎採寸には必ず金属メジャーを使用してください。

01

カーテンレールの種類を確認する

カーテンレールの種類を確認します。

- 取り付け可能：H型、角型、C型の金属製レール
- 取り付け不可：I型、装飾レール

また、必ずカーテンレールの耐荷重が10kg以上であることをご確認ください。

✓H型



✓角型



✓C型



✗I型



02

幅を測る

カーテンレールの固定ランナー以内のサイズを測ります。



採寸方法 > カーテンレール取り付け

03 高さを測る

ランナーの上からお好みの高さまで測ります。
腰高窓や出窓の場合、窓枠下部から+5cm~+10cmのはみ出し分を追加することをおすすめします。建具、障害物などを考慮し、お好みの高さでご注文ください。



注文時の POINT

- カーテンレール取り付けはお客様のご注文サイズで製造します。

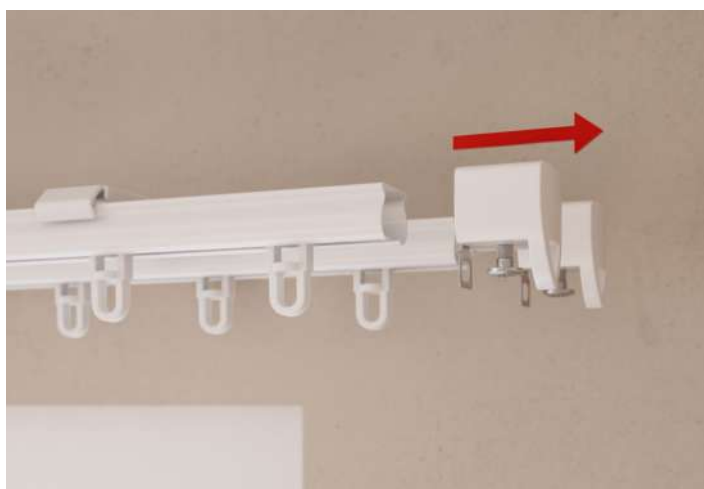
※商品の特性上、生地幅はご注文幅から2.3cm短くなります。

採寸方法 > カーテンレール取り付け



注意事項

- カーテンレール端のキャップを外した状態で、カーテンレールの端から壁までの隙間を確認してください。
- 隙間が**2cm以下**の場合：レールの端から取付金具を挿入することができません。一度カーテンレールをブラケットから外し、専用金具を取り付ける必要があります。
- 隙間が**2cm以上**の場合：通常の手順で設置可能です。



- 2台に分割する場合は、商品重量によって取り付けの可否を確認するため、カスタマーサポートへお問い合わせください。

